

暮らし・福祉・介護の願いをまっすぐ市議会に届けます

福祉・介護の専門家

まさか共子

党市福祉相談室長

日本共産党

党北部地区委員会が来春の市議選に

まさか共子さんを発表



日本共産党長崎県北部地区委員会（石川悟委員長）は来春の佐世保市議選に、まさか共子・党佐世保市福祉相談室長をたてて必勝を期すことを発表しました。日本共産党は現職の山下千秋市議とともに2議席実現をめざします。

まさか共子さんは江迎町議を4期務め、乳幼児の医療費の無料化、3歳未満児保育の充実、学童保育の実現、**繭玉祭り**など、江迎町で頑張ってきました。

相談を受ければすぐに現場にかけつけ、解決するまで頑張る、まさか共子さんです。

江迎町議4期の経験と福祉・介護の専門職を生かして、頑張ります

党・佐世保市福祉相談室長 **まさか共子**

みなさん、こんにちは。まさか共子です。私は長く病院や介護施設で働き、患者さんとその家庭の実態を見てまいりました。主治医から診察・入院を断られたり、年金では施設に入れない、障がい者のデイサービスが足りないなど、いまこうした弱い立場に立つ人々の問題を、政治の力で

どう解決するかが問われていると思います。私は、今年3月まで江迎町議を4期務めてきました。この町議の経験と、医療・福祉の現場で得た知識を生かして、今度は佐世保市議会で頑張りたいと思っております。

みなさんの声をまっすぐ市議会に届け、暮らしや福祉をよくする仕事を、私に担わせてください。



繭玉まつりの準備をするまさかさん

略歴

- ・1949年11月23日（昭和24年）生まれ 現在60歳
- ・武雄看護学校卒業。看護師、主任介護支援専門委員。
- ・江迎町議4期
- ・現在、介護施設・総括責任者。

合併町民の声を届けるメッセンジャーとして

江迎町では9年前から「店おこし」を目標に商店街の女性たちで始められた「繭玉」祭り。いまでは小・中学校、婦人会、老人会の方々まで参加しての女性ならではの「繭玉祭り」となりつつあります。そのなかで、まさか共子さんは、自らも動き、しゃべり、女性たちといっ

しょに頑張ってくれました。

佐世保市の一員となつたいま、自立できる町として生まれ変わらなければなりません。ぜひ、民と官のパイプ役、町の声を届けるメッセンジャーとして、まさかさんに佐世保市議会で頑張ってもらいたい。

江迎町長坂 岩井久美子

同封の住民アンケートにご協力ください。切手を貼らずに投かんしてください。